

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能学総合演習Ⅱ		分野	専門	
				教育内容	臨地実習	
	開講期	3 年 前期	1 単位 30 時間		主たる授業方法	演習
担当者	田野上 恭子（視能訓練士），他 5 名				専任兼任の別	専任
	実務教員	■該当 □非該当	（実務経験の概略）			
授業概要	臨地実習に必要な知識，技術，患者対応を備えていることを確認するシミュレーション実習や技術試験を行う。					
到達目標	臨地実習臨むために必要となる基本的な知識，技術，態度を身につける。					
授業計画	1. 準備講座／不同視弱視 2.                   〃 3. 準備講座／急性内斜視 4.                   〃 5. 準備講座／滑車神経麻痺 6.                   〃 7. 客観的臨床能力試験 8.                   〃 9. フィードバック 10.                  〃 11. 補足講座／眼鏡処方 12.                  〃 13. 補足講座／眼鏡処方 14.                  〃 15. 報告会					
成績評価の方法	客観的臨床能力試験（OSCE）。評定は，90 点以上を “S”，80 点以上を “A”，70 点以上を “B”，60 点以上を “C”，60 点未満は “D” とする。					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	臨地実習		分野	専門	
				教育内容	臨地実習	
	開講期	3 年 前期	14 単位 630 時間		主たる授業方法	実習
担当者	加藤 千鶴（視能訓練士），他				専任兼任の別	兼任
	実務教員	■該当 □非該当	（実務経験の概略）			
授業概要	眼科医療機関，社会福祉施設，幼稚園にて臨地実習を行う					
到達目標	<p>眼科医療機関での実習</p> <p>1. 患者と直接に接することにより，患者の心理・疾患・検査・訓練等の理解を深める</p> <p>2. 医療チームの一員であることの自覚を持つ</p> <p>3. 医療機関の体系を修得する</p> <p>社会福祉施設での実習</p> <p>1. 精神発達遅延や身体障害を持つ方との接し方やコミュニケーションの取り方を学ぶ</p> <p>幼稚園での実習</p> <p>1. 年齢による発達の差を知る</p> <p>2. 子どもとの接し方，接する際の注意点を学ぶ</p> <p>3. 子どものやる気を持たせる声掛けの方法を学ぶ</p> <p>4. 子どもへの注意の仕方を学ぶ</p>					
授業計画	1 期間は 6 週間（30 日）とする。 病院実習を 2 期間，幼稚園と社会福祉施設の実習を 1 期間，計 3 期間 行う。 病院実習先は 28，幼稚園は 3 施設，社会福祉施設は 1 施設である。					
成績評価の方法	意欲や態度，健康管理，知識，技術，コミュニケーション能力，などを評価指数に挙げたルーブリック評価法にて，施設毎に評価を行う。1 施設につき 50 点満点，合計 200 点満点のうち 6 割以上で合格とする。評定は，90 点以上を “S、”，80 点以上を “A、”，70 点以上を “B、”，60 点以上を “C、”，60 点未満は “D、” とする。					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	卒業研究		分野	専門	
				教育内容	臨地実習	
	開講期	3 年 後期	1 単位 30 時間		主たる授業方法	演習
担当者	佐藤 千鶴（視能訓練士）				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	（実務経験の概略）			
授業概要	グループ毎に自分たちの興味のある分野について詳しく調べ，それについて発表し，論文を提出する。					
到達目標	1) 自分の興味のある分野についての知識を深める 2) 文献を読み込んで，文章を分かりやすくまとめ，人に伝える力を身につける					
授業計画	1. 研究テーマを決める 2.       〃 3. 文献を集めて熟読する 4.       〃 5. どのような方向でまとめていくか，メンバーや教員と相談しながら決める 6.       〃 7. 抄録を作成する 8.       〃 9. 発表用原稿とスライドを作成する 10.      〃 11. 卒業研究発表会 予行 12. 卒業研究発表会 13.      〃 14. 発表会で出た指摘事項や質問事項について再検討する 15. 論文にまとめて提出する					
成績評価の方法	提出された論文の内容，まとめ方，提出期日，および発表会での内容，まとめ方，で評価する。評定は，90 点以上を “S”，80 点以上を “A”，70 点以上を “B”，60 点以上を “C”，60 点未満は “D” とする。					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

## 2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	国家試験対策演習		分野	専門	
				教育内容		
	開講期	3 年 後期	7 単位 210 時間		主たる授業方法	演習
担当者	田野上 恭子, 他 5 名 (視能訓練士)				専任兼任の別	専任
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	国家試験に向けて必要な知識を身につける					
到達目標	国家試験に準じた学内の模擬試験で 75 点以上を獲得する					
授業計画	<p>担当分野</p> <p>正： 斜視総論, 斜視検査</p> <p>田野上： 斜視の病態と治療, 眼振</p> <p>大塚： ロービジョン, 弱視, 臨床心理, 保健医療福祉学</p> <p>佐藤： 視覚生理学, 人体と眼の構造と機能</p> <p>吉本： 眼疾病学, 眼科薬理学</p> <p>御幡： 眼科検査学, 生理光学</p> <p>各科目の復習の講義を行う。</p> <p>国家試験の過去問を解く。</p> <p>演習問題を解く。</p> <p>定期的に模擬試験を行い, 到達度を確認する。</p> <p>必要に応じて個別指導も行う。</p>					
成績評価の方法	単位認定試験 (マークシート方式) を 12 月下旬に行い, 得点が 60 点以上で合格とする。評定は, 90 点以上を "S", 80 点以上を "A", 70 点以上を "B", 60 点以上を "C", 60 点未満は "D" とする。					
テキスト	視能学／第 2 版 (文光堂), 現代の眼科学／第 13 版 (金原出版), 屈折異常とその矯正／第 7 版 (金原出版), 光学・眼鏡 (医学書院), 視能訓練学 (医学書院), 視能検査学 (医学書院), ロービジョンケア (医学書院), 理解を深めよう 視力検査 屈折検査 (金原出版), 理解を深めよう 視野検査 (金原出版), など					
参考図書	視能矯正学 (金原出版), など					
備考・特色						